

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	法人の他事業所とは異なる地域密着型のサービスであるグループホームとしての介護理念を作成し実践していく必要がある。	スタッフ全員でグループホームとして役割を認識し、スタッフ全員で介護理念を作り上げる。	スタッフ会議において全員で、グループホームとしての役割を話し合うと同時に、それに沿った介護理念を考え実践に向けて取り組む。	12ヶ月
2	4	運営推進会議の議題がマンネリ化しており、具体的な検討課題を挙げて、より活発な話し合いに結び付けたい。	運営推進会議において、より具体的な検討課題を挙げ、活発な話し合いによって有効な活用につなげていく。	家族懇談会や議題に合わせた委員として依頼しながら、家族・地域・スタッフ等のニーズに合わせた運営推進会議を実施していく。	12ヶ月
3	2	グループホーム単独でのボランティアや慰問の受け入れがなく、地域との付き合いを増やしたい。	地域行事などへ参加やボランティアなどの受け入れなどを積極的に行っていく。	地域団体のボランティアの受け入れを行ないながら、運営推進委員などの協力を得ながら地域との交流を図っていく。	12ヶ月
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。